

留学先国名 : チェコ共和国

留学先学校名 : Gymnazium Ludka Pika Plzen

留学期間 : 平成 27 年 8 月 28 日～平成 28 年 7 月 3 日

私が住んでいたのはチェコ共和国のピルゼンというところです。チェコは中世ヨーロッパの歴史的建物がたくさんあり、市街地には多くの自然が広がっています。また、ビールの一人当たりの消費量、男性の薄毛率が世界一です。私が住んでいたピルゼンという街はチェコ第 4 の街で人口 17 万人弱、チェコで一番大きいビール工場があります。

チェコの人々は日本人によく似ているところがたくさんあり、いいところも悪いところも日本人みたい。と思う瞬間がよくありました。例えばチェコはヨーロッパで一番労働時間が長く、スーパーやノンストップショップなど土日、平日の夜も開いています。チェコの人々はまじめで働き者の人が多いと思います。日本のように 24 時間開いているお店もあり海外では珍しいのではないかなと思いました。また、チェコの人々は時間に正確でバスや電車などの公共交通機関は日本のものと変わらないくらいに正確です。遅れはほとんど見られず遅れた場合にも謝罪放送が入るなど日本と同じように信頼できます。そのため公共の交通機関を利用する機会が多かったと思います。一方でチェコは英語が通じないということでも知られています。お年寄りや個人商店ではなかなか英語は通じません。私も首都プラハで何度も迷子になりました。しかし少しでもチェコ語でコミュニケーションをとるととても喜んでくれます。このことはチェコ語を勉強するうえで私のモチベーションになりました。

首都のプラハには歴史的な中世の建物がたくさんありいつ行っても見ごたえがあります。長期の休みや、土日で予定が合うと同じくチェコに派遣されている人達が集まりプラハやチェコ国内、近隣国へ観光に行きました。また本格的な劇場でプロによるバレエやオペラ、オーケストラの迫力のある演奏を近くで聞くことができます。チェコでは観劇に行くことがとても一般的で友達同士で劇場に行くこともよくありました。劇場は外も中も魅力的で建物だけでも満足できます。

私が利用した AFS という団体は高校生の交換留学を通して平和な世界を目指すということが基本目的なので、各国から集まった高校生との交流も盛んでした。したがってチェコに留学しながらたくさんの国についても知ることができ興味、関心を持つことができました。これは大学生になってから留学してもなかなかすることができない貴重な体験だったと思います。また、現地ではたくさんのボランティアが留学生をサポートしていて安心して楽しい留学生活を送れるようになっていました。ですが、思わぬ問題が起こることもよくあります。自己管理はしっかりと問題は一人で抱えず周りに相談すること、これはとても大切なことだと再確認しました。初めは言葉がうまく伝えられずに落ち込んだり、伝えたいことがなかなか伝わらず神経質

になる時期もあります。そんな時には考えすぎず今自分がどう考えているのかを周りの人達に伝えるということに専念してください。周りの人たちも留学生が楽しく留学生活を送れるように一生懸命サポートしてくれているはずですよ。

ファミリーは様々で留学生だからって特別扱いはしないという家庭がほとんどでした。私の家族は両親は毎日働いていて同い年のシスターは受験があるというとても忙しいはずの期間に私を受け入れてくれました。そのなかでも家族旅行に連れて行ってくれたり、家でパーティーを開かせてくれたり学校に持っていくスナックを毎日作ってくれたり、いろんなことに挑戦させてくれたり、ホストファミリーには感謝してもきれないです。もしもホストファミリーのおうちにお世話になることになったら感謝の気持ちを絶対に忘れないでください。

私が通っていた高校は 11 歳から 19 歳が通うチェコでは一般的な公立高校でした。初めころは授業もほとんど理解できず、クラスの人ともあまりコミュニケーションをとることができませんでした。私の場合言葉が通じない、コミュニケーションがとれないということは想像以上にストレスでした。しかし半年が過ぎ少しずつ言葉が理解できるようになってからはクラスのみならず話せることが増えとてもうれしかったです。そこからは一気に距離が縮まりたくさん話したり、いろんなことを教えてもらったり学校に行くのが楽しくなりました。最後の登校日の日には放課後に友達がフェアウェルパーティーを開いてくれました。初めはここまで仲良くなれるとは思っていなかったのでも嬉しかったです。私は世界で一番幸せな留学生でチェコに留学できて本当によかったと思います。

今日本には海外留学に興味がある、しかし学業面、金銭面などでなかなか留学に手が出せないという人もたくさんいると思います。また、日本に留学している外国人もたくさんいます。私がサポートしてもらった分少しでもそういった人たちの話を聞き、私の経験をいかしてアドバイスできればいいなと思っています。そのために AFS で募集している学生ボランティアをしようと考えています。また機会があれば私の経験をスピーチやプレゼンテーションで伝えられたらなと思います。